

令和2年度 第1回長野市観光振興審議会 会議録

日 時 令和2年11月16日(月) 午後2時から午後3時55分まで

場 所 市役所会議室 203(第二庁舎10階)

出席者 委員(14人中13人出席)

事務局8人

観光振興計画進捗管理SCOP2人

長野市開発公社2人

1 議事(議長:笠原会長)

(1) 長野市観光振興計画の進捗状況について

資料1-1 令和元年度長野市観光振興計画の進捗及び指標達成状況について

資料1-2 令和元年度長野市観光振興計画に基づく事業実績及び評価―抜粋―

資料1-3 令和元年度長野市観光振興計画に基づく事業実績及び評価)

(2) 次期観光振興計画の策定について

資料2 長野市観光振興計画 策定方針/プロセスの概要

(3) 観光振興課の事業について

資料3-1 松代荘のリニューアルについて

資料3-2 長野デザインウィークちらし

資料3-3 ながのエアルフエスタちらし

以上の資料に基づき事務局説明

2 質疑応答、意見など

(1) 長野市観光振興計画の進捗状況について

委 員:評価の後ろに課題も記載されており、次期計画をどう作成していくかが課題である
と考える。

(2) 次期観光振興計画の策定について

委 員:第4期の観光振興計画はいつからか

事務局:令和4年度からである。

委 員:計画は庁内全部のものなのか?

事務局:本市では総合計画を策定しているが、この中の個別計画として位置づけられるもの
である。

委 員:作業部会とはどのようなものなのか?

事務局:現計画では、善光寺界限、戸隠、松代で組織されている。

メンバーは、事業者等で構成されており、現計画でも進めている。

委員：県外居住者やインバウンドの意向や情報発信、また、大学教授や外部の有識者等の意見を聴取することはあるのか？

事務局：資料にもあるが、様々な調査を現在進めており、その中で県外居住者やインバウンドの動向調査についても調査している。

今後、意見を取りまとめた上で、審議会にも諮っていく。

事務局：当課においても、外国人交流員を配置し、インバウンドについても「市ならではの正確な情報発信を SNS 等活用ながら実施している。

委員：成果の見える化することは非常に良いことである。

長期戦略 2040 に「平均所得倍増」という目標があるが、観光が担うミッションとして市民生活を豊かにすることもあると考える。

目標管理に経済波及額の他に、市民の皆さんへの観光の貢献度という指標を設けることはできないか？

具体的には難しいと考えるが、今後研究してみてもどうか？

事務局：長期戦略の観光分野で「観光による経済循環を創造し、住民にも、訪問者にも、地球にも優しい形で、世界に誇る持続可能な観光先進都市を実現する」提案が戦略マネージャーからあった。その辺も睨みながら検討していきたい。

委員：観光振興と人口減少対策と表裏一体であると考えている。

交流人口や入込人口を増やす手段として観光は大きなツールである。「ながのファン」を増やし、如何にしてリピート率を上げていき、その延長線上に長野に住みたい、暮らしたいということが生まれてくる。

施策の中にも記載があるが、観光産業を強化することは、非常に大切なことである。

現在、移住定住を考える年代は以前より下がり、20～40 代である。その人たちの働く場所の確保にも意義があることである。

観光振興のみならず、人口減少対策も認識しながら、計画策定を進めて欲しい。

委員：長野市の観光地として見ると、松代は武士、善光寺は仏、戸隠は神であり、精神性が非常に高いと考えている。

全国でも有数の精神性の高い観光地というものを全国に売り込んで行って欲しい。

委員：(感想となるが) 前回の計画策定の際に、WG に参加して、民間事業者と意見交換できたが、それが策定にどのように結びついたかはっきりしないところがあり、残念な印象がある。

現計画の作業部会にも参画しているが、民間に任せるのではなく、市とコンベンションビューローにも一緒に取り組み、作り上げて行けばより良いものになったと感じている。

今後、WG も始まるということであるが、そういった部分も加味して進めていった方が良いと考える。

事務局：アイデアや発想という部分では、民間の皆様をお願いせざるを得ないところはある

が、実施主体というところで、今後更に検討していきたい。

事務局：部会によって様々であるが、部会で検討した旅行商品が、観光協会にフィードバックされている地域もある。

我々も反省すべきところもあるので、今後、再構築を検討していきたい。

委員：誰も予想していなかったコロナ禍において、どう情報発信していくかが大変重要である。SNS等活用して、映像を利用して発信していくことは大切なことである。

豊かな自然を求めて来訪してくる方が多い。

観光施策についても、善光寺周辺の灯明まつりやデザインウィーク等一定期間行うイベントも良いが、もうちょっと短期集中した方が良い部分もあると考える。

また、リモートで働けるようになり、そのような場所を提供するというのも大切であるとする。

今後、どのように観光PRを推進していくか、少し悩むところである。

委員：資料1ページ目の、「観光振興計画の役割/策定方針」の中で、この計画は長野市が策定するのであるため、善光寺、松代、戸隠が記載されているのは良いのであるが、長野市だけでは観光客は来ないので、観光に関しては行政の枠を外す必要がある。その中に長野市があるという観点で作成していただきたい。

そうすると、役割1の文中に「域内への「人の流れ」をつくり」というものがあるが、この「域内」というのは長野市だけの観点である。山ノ内、小布施、野沢温泉、白馬といったところがあるのが長野市であるため、そういった観点であると「域内外」というような表現になる。

また、役割2では「地域間競争に勝ち残る」ではなく、地域内で協力して、むしろ松代、善光寺、戸隠が、今まで以上にアップデートしていかなければならないというような意味合いで、是非お願いしたい。

役割3でも、「官民一体となって」という文言があるが、11月3日の花火もそうであったが、市長がみんなに呼び掛けてやっているのだから、そういうようなことでも、長野市だけではなくて、長野市を囲む地域一帯で取り組んでいくというように、観光は市域の枠を外して考えていますよというような文章にすると良いのではないかとと思う。

それにより、次期計画の方向性の中にある「長野市の地域経済を支えていく」ということに繋がっていくと考える。

是非、「鳥の目」の観点で策定していただきたい。

委員：1ページ目の文章は、日本中どこの自治体も作成するものだと思うので、長野市の独自性である「豊かな自然や歴史」といったものを前面に打ち出して欲しい。

事務局：コロナ禍においては、実際、夏以降、戸隠に多くの観光客が訪れている。今後、経済波及額を上げていこうとすると、宿泊、滞在型を模索していくことになるのであろうと考える。そのような中では、広域という観点は重要になる。策定していく中で、

ご意見いただきながら検討していきたい。

(3) 観光振興課の事業について

- ①松代荘改修について
 - ②長野デザインウィークについて
 - ③ながのエアルフESTAについて
- <芳川委員から松代観光協会の事業紹介>
- ・御城印について等

委員：松代荘は指定管理施設なのか？

事務局：指定管理施設として長野市開発公社で運営している。

開発公社：当方で管理運営している。

レストラン、風呂等リニューアルしたので是非お越しいただきたい。

委員：松代について、佐久間象山や松井須磨子をアピールして、観光に生かしてはどうか？

委員：象山神社には、ある企業から銅像が寄贈された。

松井須磨子については、ゆかりがある都市と交流をしたり、お墓の掃除等実施している。

また、童謡作家についても、海沼實等5人輩出している。地元では西条小学校へ記念館を建てたらどうかという話も出ている。

委員：松代荘には、日帰り入浴で利用させていただいている。

これまでは、洗い場が少なく不便であったが、リニューアルして倍増し、非常に具合よくなった。

松代甲冑隊に属して活動している。平日はそれぞれ仕事等しているためご希望に添えない可能性はあるが、イベント等でお声がけいただき、活用していただければありがたいと思っている。

委員：先日、鬼無里の加茂神社へ伺った。御神木が「鬼滅の刃」の関係で注目を集めているということであった。また、信州新町の道の駅も、よく利用している。そばがおいしいので、多くの方に訪れていただきたいと考えている。

最近、若い女性に大変人気があるユーチューバーが善光寺界限を訪れたという話を聞いたが、どのような経過であるのか教えて欲しい。

事務局：今回、コロナ対策の地方創生臨時交付金を活用して、デジタルプロモーション事業を実施している。

委託事業者からの提案で、善光寺、松代、戸隠の3か所で動画作成を進めている。

先日、善光寺さんに撮影協力いただき、美容系のユーチューバーである関根理沙さんという方が出演した動画を配信して、現在のところ、14万回の再生回数を記録

している。

その他に東大クイズ王のクイズノックという皆さんに出演いただき、戸隠で撮影をした。

また、松代では、長野市出身のミュージカル俳優の岡宮来夢さんに街歩きをしていただき、それを配信する予定である。

委員：市内を回遊するようなものではないのか？

事務局：出演者の日程、尺（動画の撮影時間）等々で、今回はそれぞれ単発のものとなる。

委員：効果はどのようにして計るのか？

事務局：現状では再生回数であるが、その後、長期的に見て若者が増加した等で見るとはならないかと考えている。

事務局：善光寺御開帳の関係で、奉賛会との話の中で、前回も来訪者は50代以上の方が多かったため、次の御開帳ではSNS等活用し、若者をターゲット効果的に情報発信していくことを検討している。

委員：自身も高齢であるためよく分からない部分はあるが、今後、若者へ向けた情報発信を推進して行って欲しい。

委員：善光寺でもツイッターを開設した。取り急ぎは、今年の二年参りの情報を発信していくこととしている。

また、祇園祭りも中高生に、もっと参加して欲しいと考えている。